

## 湖山地区公民館

事業名	人権啓発推進事業 『旧閑谷学校と姫路・革の里見学』
目的	湖山地区人権啓発推進員及び湖山地区住民を対象に、人権啓発推進事業として、現地視察研修を行いました。
事業概要	<p>毎年、湖山地区人権啓発推進協議会と共催で、県外研修を実施しています。今回は、岡山県備前市『旧閑谷学校』と、兵庫県姫路市『革の里』を研修先としました。</p> <p>旧閑谷学校では、1670年岡山藩主池田光政によって創建された、庶民の為の学校である事等を。また、『革の里』では、皮革産業発祥の地の歴史と、製造過程・製品販売について学びました。</p>
工夫した点 成果	<p>4月に新築された公民館に「楷の木」を記念植樹したことから、「楷の木」で有名な『旧閑谷学校』。そして人権学習という観点で、姫路市人権センターから紹介していただいた『革の里』を視察先に決定しました。</p> <p>『革の里』では、参加者の方より「革製品が出来上がるまでには、革の加工など、悪臭が漂う、3Kをはるかに上回る工場内での労働環境の下、過酷な作業であることを見て、聞いて驚きました。」との声が聞かれました。</p> <p>また、今は改善されているものの、どれほど劣悪な状況だったか、実感して貰えました。</p> <p>さらには、研修を通して、地区民同士の交流も行う事が出来、充実した一日となりました。</p>
所見 アドバイス等	<p>『日帰りのバス利用』ということで、時間等の制約もあり、今まで行ったことのない研修先を企画するのに大変苦勞をしました。</p> <p>今後も、地区住民の要望をふまえ、現地研修を実施していきたいと思います。</p>



《旧閑谷学校見学の様子》



《革の里工場見学》